

# 住民と行政がいっしょに1つのものを作るのはすばらしい！



四季文化館企画実行委員

ちば まさひと  
千葉正一 さん

「仕事柄困っている人がいたら助けたい」と話す千葉さん

みの〜れと共に生活するスタイル  
Minole Life  
のすすめ

No.165

今年の桜は素晴らしかったです。希望ヶ丘公園の桜の花と菜の花のコラボは、青い空と桜色に染まった木々と、真っ黄色の絨毯で見応えがありました。百花繚乱のこの季節は一年で一番素敵ですね。  
今回は、四季文化館企画実行委員会のメンバーで茨城町にお住まいの千葉正一さん取材します。

千葉さんに企画実行委員に關わったきっかけを聞いてみました。「知人を通してこういう企画があるんだけどどうか？」と声をかけられて何も分からずに入ったと話します。みの〜れにはそれまで研修などで数回来ただけで、「茨城町と比べると、立派な建物があって羨ましいなあ」というのが率直な意見です。昨年、企画実行委員になってコロナ禍でろくな挨拶もしないまま、2年目に入りました。正直、どんな会議をするのかも分からなくて来たのですが、緻密で細かなところまで住民参画でやるんだなと思いました。オンライン会議が多いけれど、毎月、会議をやっていることが素晴らしいと思います」と話します。

身体を動かすのが好きと話す

千葉さんに趣味を聞いてみると「小学校から社会人になるまでサッカーをしていました。今はサッカー観戦で、川崎フロンターレの三苫薫選手と栃木SCの有馬幸太郎選手が試合に出場するときは必ず観に行きます」と話してくれました。

「もう一つの趣味は、巨樹ハンターと呼ばれるのですが、大きな木を見に行くという趣味があるんです。太さ、樹齡、見え方とか、神社とかに巨木があるでしょう。日立、常陸太田、

大子にはたくさんありますね。自分の中で、これを見ておけば・という巨木は、大子町の近津（ちかつ）神社の鉾スギです。県指定の天然記念物になっているので近くまで行ったときはぜひご覧ください」と千葉さん。

「二つのことを創り上げていくのに、たくさんの方が関わり合っていて、人との繋がりがあって、どうやってつなげていくかをみの〜れで勉強して自分の町へ持ち帰りたいと思います。チャンスがあれば、小美玉市地域文化コーディネーターの枝見さんや山口館長に茨城町に来ていただいて、みの〜れの取り組みなどを話してもらい、茨城町も頑張ってみようかという気持ちになったいいなと思います」と話します。

千葉さんにとってみの〜れは、「初めて来たとき緊張しました。そして今日も立派な建物なので緊張しました」と笑って話してくれました。  
(藤田佐知子)